

練習問題 2-A

1. $y = f(x)$ とおく.

$$\begin{aligned} (1) f(-x) &= \frac{(-x)^2}{\sqrt{(-x)^2 + 1}} \\ &= \frac{x^2}{\sqrt{x^2 + 1}} \\ &= f(x) \end{aligned}$$

よって、**偶関数**である.

$$\begin{aligned} (2) f(-x) &= (-x)^5 - 3 \cdot (-x)^3 \\ &= -x^5 + 3x^3 \\ &= -(x^5 - 3x^3) \\ &= -f(x) \end{aligned}$$

よって、**奇関数**である.

$$\begin{aligned} (3) f(-x) &= (-x)^6 + 3 \cdot (-x)^3 \\ &= x^6 - 3x^3 \end{aligned}$$

$$f(-x) \neq f(x), f(-x) \neq -f(x)$$

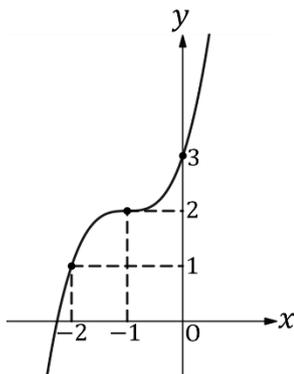
よって、**奇関数でも偶関数でもない**.

$$\begin{aligned} (4) f(-x) &= |-x| + 1 \\ &= x + 1 \\ &= f(x) \end{aligned}$$

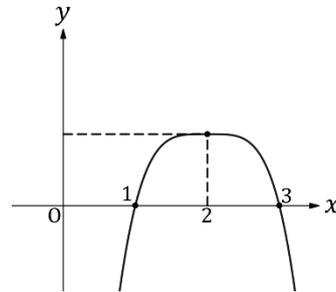
よって、**偶関数**である.

2.

(1) この関数のグラフは、 $y = x^3$ のグラフを、
x軸方向に-1, y軸方向に2平行移動したものである.



(2) この関数のグラフは、 $y = -x^4$ のグラフを、
x軸方向に2, y軸方向に1平行移動したものである.



(3) 分子を分母で割ると

$$\begin{array}{r} 1 \\ x-1 \overline{)x} \\ \underline{x-1} \\ 1 \end{array}$$

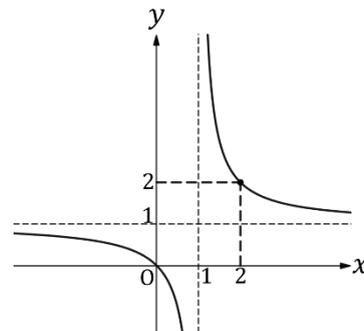
$$\text{よって, } y = \frac{1}{x-1} + 1$$

この関数のグラフは、 $y = \frac{1}{x}$ のグラフを、

x軸方向に1, y軸方向に1平行移動したものである.

定義域は、 $x \neq 1$, 値域は、 $y \neq 1$

漸近線は、 $x = 1, y = 1$



【式変形別解】

$$\begin{aligned} y &= \frac{(x-1) + 1}{x-1} \\ &= \frac{x-1}{x-1} + \frac{1}{x-1} \\ &= \frac{1}{x-1} + 1 \end{aligned}$$

(4) $y = \frac{-x+2}{x+1}$ であるから

分子を分母で割ると

$$\frac{-1}{x+1} = \frac{-x+2}{-x-1} = \frac{-x-1}{3}$$

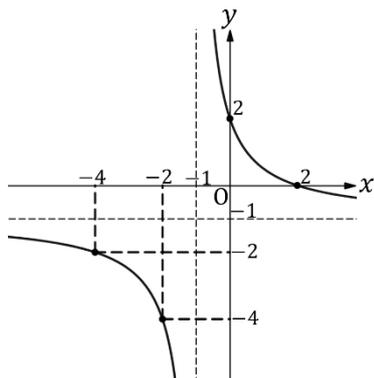
よって、 $y = \frac{3}{x+1} - 1$

この関数のグラフは、 $y = \frac{3}{x}$ のグラフを、

x 軸方向に -1 、 y 軸方向に -1 平行移動したものである。

定義域は、 $x \neq -1$ 、値域は、 $y \neq -1$

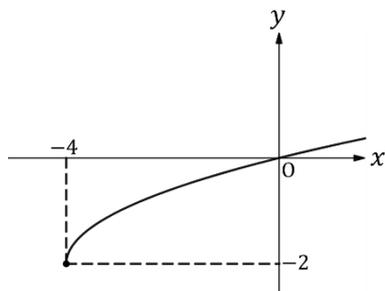
漸近線は、 $x = -1$ 、 $y = -1$



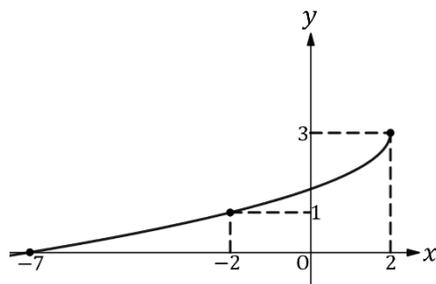
【式変形別解】

$$\begin{aligned} y &= \frac{-(x+1)+3}{x+1} \\ &= \frac{-(x+1)}{x+1} + \frac{3}{x+1} \\ &= \frac{3}{x+1} - 1 \end{aligned}$$

- (5) この関数のグラフは、 $y = \sqrt{x}$ のグラフを、
 x 軸方向に -4 、 y 軸方向に -2 平行移動したものである。
 定義域は、 $x+4 \geq 0$ より、 $x \geq -4$ 、値域は、 $y \geq -2$



- (6) $y = -\sqrt{-(x-2)} + 3$ であるから、この関数の
 グラフは、 $y = -\sqrt{-x}$ のグラフを、 x 軸方向に 2 、
 y 軸方向に 3 平行移動したものである。
 定義域は、 $2-x \geq 0$ より、 $x \leq 2$ 、値域は、 $y \leq 3$



3.

分子を分母で割ると

$$\frac{1}{x+1} = \frac{x-3}{x+1} = \frac{x+1}{-4}$$

よって、 $y = -\frac{4}{x+1} + 1$

この関数のグラフは、 $y = -\frac{4}{x}$ のグラフを、

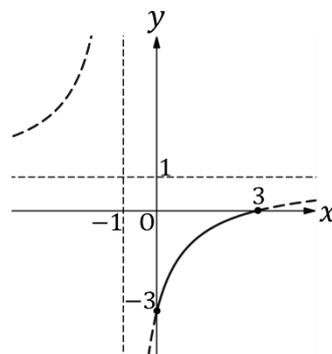
x 軸方向に -1 、 y 軸方向に 1 平行移動したものである。

定義域は、 $x \neq -1$ 、値域は、 $y \neq 1$

漸近線は、 $x = -1$ 、 $y = 1$

また、 $x = 0$ のとき、 $y = -3$

$x = 3$ のとき、 $y = 0$



よって、値域は、 $-3 \leq y \leq 0$

【式変形別解】

$$\begin{aligned} y &= \frac{(x+1)-4}{x+1} \\ &= \frac{x+1}{x+1} + \frac{-4}{x+1} \\ &= -\frac{4}{x+1} + 1 \end{aligned}$$

4.

グラフが、点 $(-1, 3)$ を通るので

$$3 = \frac{a \cdot (-1) + b}{-1 + 2}$$

$$3 = \frac{-a + b}{1}$$

すなわち、 $-a + b = 3 \cdots \textcircled{1}$

また

$$\begin{aligned} y &= \frac{a(x+2) - 2a + b}{x+2} \\ &= \frac{a(x+2)}{x+2} + \frac{-2a+b}{x+2} \\ &= \frac{-2a+b}{x+2} + a \end{aligned}$$

よって、漸近線は、 $x = -2$, $y = a$ であるから、

$$a = 2$$

これを、 $\textcircled{1}$ に代入して

$$-2 + b = 3$$

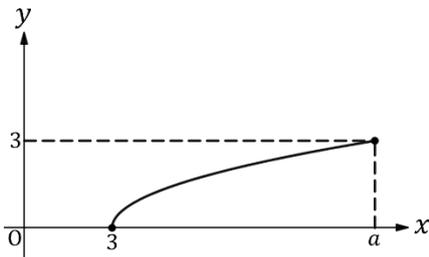
$$b = 5$$

したがって、 $a = 2$, $b = 5$

5.

この関数のグラフは、 $y = \sqrt{x}$ のグラフを x 軸方向に3平行移動したものである。

定義域は、 $x - 3 \geq 0$ より、 $x \geq 3$



グラフより、 $x = a$ のとき、 $y = 3$ となればよいので

$$3 = \sqrt{a - 3}$$

両辺を2乗して

$$9 = a - 3$$

$$a = 12$$

6.

(1) 逆関数は、 $x = -ay + b$

これを、 y について解くと

$$ay = -x + b$$

$a \neq 0$ なので

$$y = -\frac{1}{a}x + \frac{b}{a}$$

定義域、値域は、すべての実数。

(2) この関数の定義域は、 $x \leq 0$, 値域は、 $y \leq 1$ で

あるから、逆関数の定義域、値域はそれぞれ

$$x \leq 1, y \leq 0$$

逆関数は、 $x = 1 - y^2$

これを y について解くと

$$y^2 = 1 - x$$

$$y = \pm\sqrt{1-x}$$

$y \leq 0$ なので

$$y = -\sqrt{1-x}$$

(3) この関数の定義域は、 $x \neq b$, 値域は、 $y \neq 0$ で

あるから、逆関数の定義域、値域はそれぞれ

$$x \neq 0, y \neq b$$

逆関数は、 $x = \frac{a}{y-b}$

これを、 y について解くと

$$x(y-b) = a$$

$x \neq 0$ なので

$$y - b = \frac{a}{x}$$

$$y = \frac{a}{x} + b$$

$$(4) y = \frac{(x+2) - 5}{x+2}$$

$$= \frac{x+2}{x+2} + \frac{-5}{x+2}$$

$$= -\frac{5}{x+2} + 1$$

この関数の定義域は、 $x \neq -2$, 値域は、 $y \neq 1$ である

から、逆関数の定義域、値域はそれぞれ $x \neq 1$, $y \neq -2$

逆関数は、 $x = \frac{y-3}{y+2}$

これを、 y について解くと

$$x(y+2) = y-3$$

$$xy + 2x = y - 3$$

$$y(x-1) = -2x - 3$$

$x \neq 1$ なので

$$y = \frac{-2x-3}{x-1}$$

7.

この関数の定義域は、 $x \geq 2$, 値域は、 $y \geq 3$ で

あるから、逆関数の定義域、値域はそれぞれ

$$x \geq 3, y \geq 2$$

$$\text{逆関数は, } x = (y - 2)^2 + 3$$

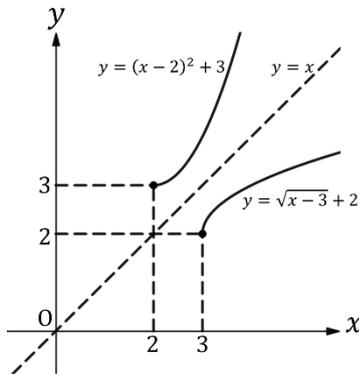
これを, y について解くと

$$(y - 2)^2 = x - 3$$

$y \geq 2$ より, $y - 2 \geq 0$ であるから

$$y - 2 = \sqrt{x - 3}$$

$$y = \sqrt{x - 3} + 2 \quad (x \geq 3)$$



練習問題 2-B

1.

グラフが原点を通るから

$$0 = \frac{0 + b}{0 + c}$$

すなわち, $b = 0$

また

$$y = \frac{a(x + c) - ac + b}{x + c}$$

$$= \frac{a(x + c)}{x + c} + \frac{-ac + b}{x + c}$$

$$= \frac{b - ac}{x + c} + a$$

よって, 漸近線は, $x = -c, y = a$ であるから

$$-c = 1, a = 2$$

以上より, $a = 2, b = 0, c = -1$

2.

$y = \sqrt{-x}$ のグラフを, x 軸方向に2, y 軸方向に k 平行移動したグラフの式は, $y - k = \sqrt{-(x - 2)}$ である.

このグラフが, 原点を通るので

$$0 - k = \sqrt{-(0 - 2)}$$

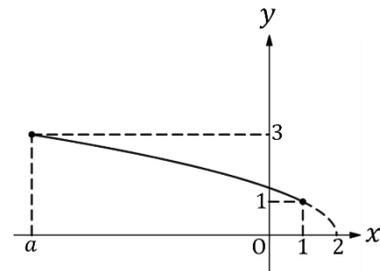
$$-k = \sqrt{2}$$

$$k = -\sqrt{2}$$

3.

$y = \sqrt{-(x - 2)}$ であるから, このグラフは, $y = \sqrt{-x}$ のグラフを, x 軸方向に2平行移動したものである.

定義域は, $2 - x \geq 0$ より, $x \leq 2$



グラフより, $x = a$ のとき, $y = 3$ となればよいので

$$3 = \sqrt{2 - a}$$

両辺を2乗して

$$9 = 2 - a$$

$$a = -7$$

4.

$$y = \frac{2(x + k) - 2k - 1}{x + k}$$

$$= \frac{2(x + k)}{x + k} + \frac{-2k - 1}{x + k}$$

$$= \frac{-2k - 1}{x + k} + 2$$

逆関数が存在するためには, $-2k - 1 \neq 0$, すなわち,

$$k \neq -\frac{1}{2}$$

このとき, この関数の定義域は, $x \neq -k$

値域は, $y \neq 2$ であるから, 逆関数の定義域は, $x \neq 2$

値域は, $y \neq -k$

逆関数は, $x = \frac{2y - 1}{y + k}$ であるから, これを y について

解くと

$$(y + k)x = 2y - 1$$

$$xy + kx = 2y - 1$$

$$(x - 2)y = -kx - 1$$

$x \neq 2$ であるから

$$y = \frac{-kx - 1}{x - 2}$$

これと, もとの関数である $y = \frac{2x - 1}{y + k}$ が一致するので,

$$\frac{-kx - 1}{x - 2} = \frac{2x - 1}{y + k} \text{ となるから, } k = -2$$

※ x についての恒等式として解いてもよい.

5.

$$f(x) = \frac{a(x-2) + 2a + b}{x-2}$$

$$= \frac{2a+b}{x-2} + a$$

逆関数が存在するためには、 $2a + b \neq 0$

このとき

この関数の定義域は、 $x \neq 2$ 、値域は、 $y \neq a$ であるから、逆関数の定義域は、 $x \neq a$ 、値域は、 $y \neq 2$

逆関数は、 $x = \frac{ay+b}{y-2}$ であるから、これを y について

解くと

$$(y-2)x = ay + b$$

$$xy - 2x = ay + b$$

$$(x-a)y = 2x + b$$

$x \neq a$ であるから

$$g(x) = \frac{2x+b}{x-a}$$

$$f(1) = 2 \text{ より}$$

$$2 = \frac{a+b}{1-2}, \text{ すなわち, } a+b = -2 \cdots \textcircled{1}$$

$$g(4) = 3 \text{ より}$$

$$3 = \frac{8+b}{4-a}, \text{ すなわち, } 3(4-a) = 8+b$$

整理すると、 $3a + b = 4 \cdots \textcircled{2}$

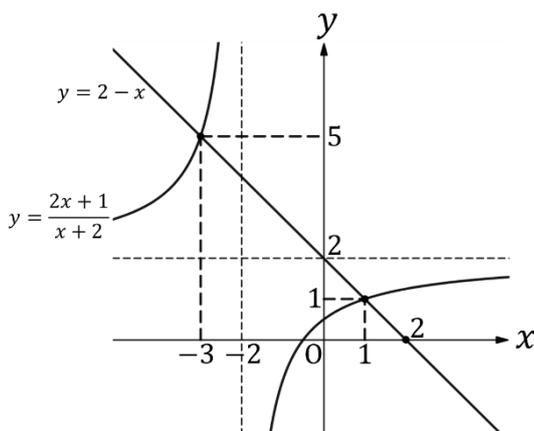
$\textcircled{1}$ 、 $\textcircled{2}$ の連立方程式を解くと、 $a = 3, b = -5$

6.

$$(1) y = \frac{2(x+2) - 3}{x+2}$$

$$= -\frac{3}{x+2} + 2$$

この関数の定義域と値域はそれぞれ、 $x \neq -2, y \neq 2$



$$(2) \begin{cases} y = \frac{2x+1}{x+2} \\ y = 2-x \end{cases} \text{ を解くと}$$

$$\frac{2x+1}{x+2} = 2-x$$

$$2x+1 = (2-x)(x+2)$$

$$2x+1 = -x^2+4$$

$$x^2+2x-3=0$$

$$(x-1)(x+3)=0$$

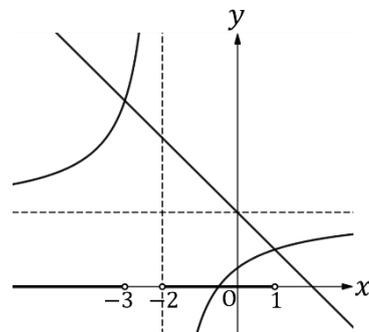
$$x = 1, -3$$

$$x = 1 \text{ のとき, } y = 1$$

$$x = -3 \text{ のとき, } y = 5$$

よって、交点の座標は、 $(1, 1), (-3, 5)$

(3)



$y = 2 - x$ のグラフが、 $y = \frac{2x-1}{x+2}$ のグラフより上側にある範囲が不等式の解であるから

$$x < -3, -2 < x < 1$$

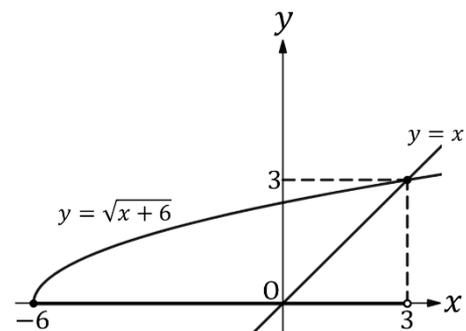
7.

$$(1) \begin{cases} y = \sqrt{x+6} \\ y = x \end{cases} \text{ とする.}$$

$y = \sqrt{x+6}$ の定義域は、 $x+6 \geq 0$ より、 $x \geq -6$

値域は、 $y \geq 0$

$y \geq \sqrt{x+6}$ と $y = x$ のグラフをかくと



交点の座標を求めるために、 $\sqrt{x+6} = x$ を解くと

$$x + 6 = x^2$$

$$x^2 - x - 6 = 0$$

$$(x + 2)(x - 3) = 0$$

$$x = -2, 3$$

$x = -2$ のとき、左辺 = 2, 右辺 = -2よって、無縁解.

$x = 3$ のとき、左辺 = 右辺 = 3

よって、交点の座標は、(3, 3)

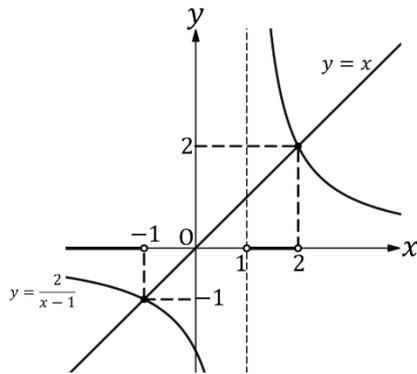
$y = \sqrt{x+6}$ のグラフが、 $y = x$ のグラフより上側にある範囲が不等式の解であるから

$$-6 \leq x < 3$$

$$(2) \begin{cases} y = \frac{2}{x-1} \\ y = x \end{cases} \text{ とする.}$$

$y = \frac{2}{x-1}$ の定義域は、 $x \neq 1$, 値域は、 $y \neq 0$

$y = \frac{2}{x-1}$ と $y = x$ のグラフをかくと



交点の座標を求めるために、 $\frac{2}{x-1} = x$ を解くと

$$2 = x(x - 1)$$

$$2 = x^2 - x$$

$$x^2 - x - 2 = 0$$

$$(x + 1)(x - 2) = 0$$

$$x = -1, 2$$

$x = -1$ のとき、 $y = -1$

$x = 2$ のとき、 $y = 2$

よって、交点の座標は、(-1, -1), (2, 2)

$y = \frac{2}{x-1}$ のグラフが、 $y = x$ のグラフより上側に

ある範囲が不等式の解であるから

$$x < -1, 1 < x < 2$$